

光干渉断層計を用いた各種眼底疾患の研究に関する研究

1. 研究の対象

西暦 2004 年 5 月 1 日～西暦 2020 年 3 月 31 日の期間に、当科を受診した患者で下記の疾病を有するもののうち、診断治療のため OCT を撮影したもの。

1. 脈絡膜新生血管
2. 広義加齢黄斑変性
3. 中心性漿液性脈絡網膜症
4. 近視関連疾患
5. 緑内障
6. その他の眼底疾患

西暦 2004 年 5 月 1 日～西暦 2020 年 3 月 31 日の期間に、同様に撮影した正常ボランティア。

2. 研究目的・方法

各種眼底疾患の評価には従来、蛍光眼底撮影や眼底写真撮影などによって行われてきた。近年光干渉断層計（OCT）による疾病評価の重要性が高まっており、各種眼底疾患（脈絡膜新生血管、広義加齢黄斑変性、中心性漿液性脈絡網膜症、近視関連疾患、緑内障など）に応用されている。本研究ではこれら疾病における OCT 所見を評価し、治療効果の評価と予後の予測を試みるものである。

これら撮影した OCT データを解析して検討する。また、診療範囲内で得られたその他の眼科所見（視力、眼圧、眼底所見、眼軸長、蛍光眼底造影所見）を診療録から調査して、OCT データとの関連性を比較する。

評価方法

OCT 所見とその他眼科的所見（視力など）との関連を検討し、OCT 所見により病態解明を行うとともに、各種治療法の効果を評価する。また得られた結果から予後予測式の開発を試みる。

研究期間

西暦 2004 年 5 月 1 日～西暦 2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

視力、眼圧、年齢、性別、OCT 画像など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘2-2

大阪大学大学院医学系研究科 眼科学講座 助教 崎元晋（研究責任者）

電話番号：06-6879-3456